

25年7～9月期のユーロ圏経済は前期比+0.2%の緩やかな成長



欧州経済

- 25年7～9月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.2%と、4～6月期の同+0.1%から伸びが若干加速したものの、緩やかな成長にとどまった。
- 企業の景況感は緩やかに改善している。10月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は52.5（前月は51.2）と5か月連続で上昇した。
- 10月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+2.1%と、前月から若干伸びが鈍化した。一方、エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数は同+2.4%と、前月と同じ伸び率となった。
- 欧州中央銀行（ECB）は10月30日の政策理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.0%に据え置くことを決定した。金利の据え置きは3会合連続。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



浜銀総合研究所

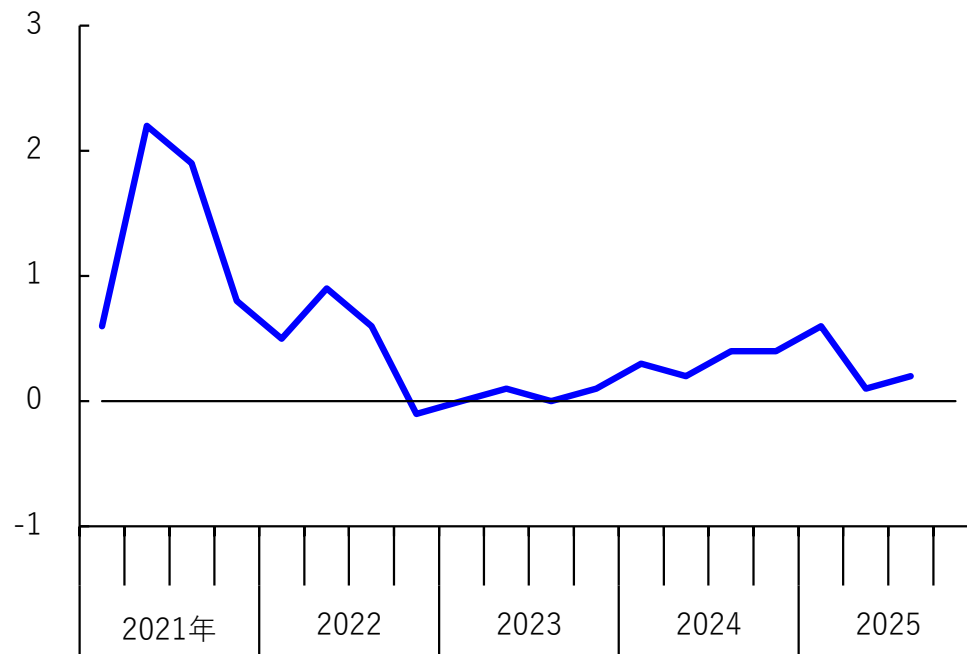
25年7～9月期の実質GDPは前期比+0.2%と伸びが若干加速



- 25年7～9月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.2%と、4～6月期の同+0.1%から伸びが若干加速したものの、緩やかな成長にとどまった。
- 各国別では、スペインが前期比+0.6%と高めの伸びを維持した。またフランスが同+0.5%と4～6月期の同+0.3%から伸びを高めた。一方、ドイツとイタリアがいずれもゼロ成長にとどまった。

ユーロ圏実質GDP

前期比、% 季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏主要国の実質GDP

季調済、前期比、%

	2024年	25年		
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
ユーロ圏	0.4	0.6	0.1	0.2
ドイツ	0.2	0.3	▲ 0.2	0.0
フランス	0.0	0.1	0.3	0.5
イタリア	0.1	0.3	▲ 0.1	0.0
スペイン	0.8	0.6	0.8	0.6

注:2025年7～9月期は速報値。

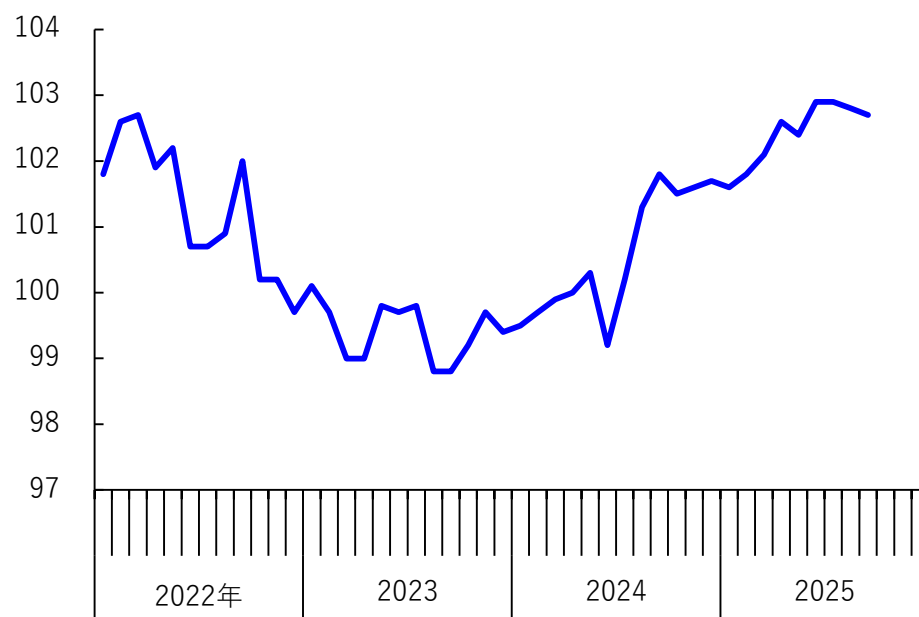
出所：欧州委員会統計局

9月のユーロ圏小売売上高指数
は2か月連続で低下

- 個人消費は足元で弱含み。25年9月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.1%と2か月連続で低下した。
 - ー 自動車燃料が前月比-1.0%と8月（同-0.3%）から低下幅が拡大した。一方、非食料品（除く自動車燃料）は同-0.2%と8月（同-0.5%）から低下幅が縮小した。食品・飲料・たばこは前月比横ばい。
- 消費マインドは緩やかに改善。10月のユーロ圏消費者信頼感指数は-14.2と、2か月連続で上昇（改善）した。
 - ー 国別には、ドイツの消費者信頼感指数が低下する一方で、フランスやイタリアなどで上昇した。

ユーロ圏小売売上高指数

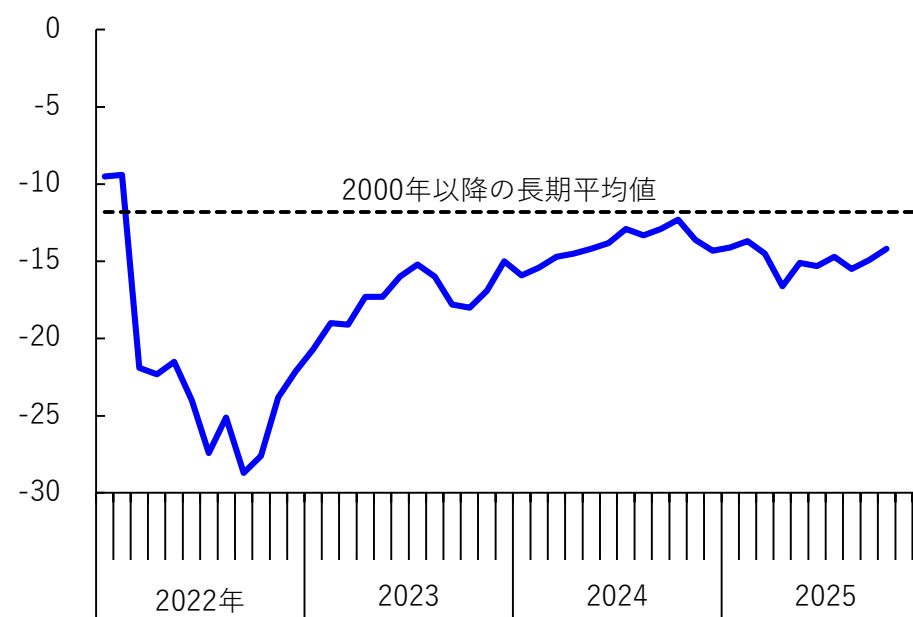
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

ポイント、季調済

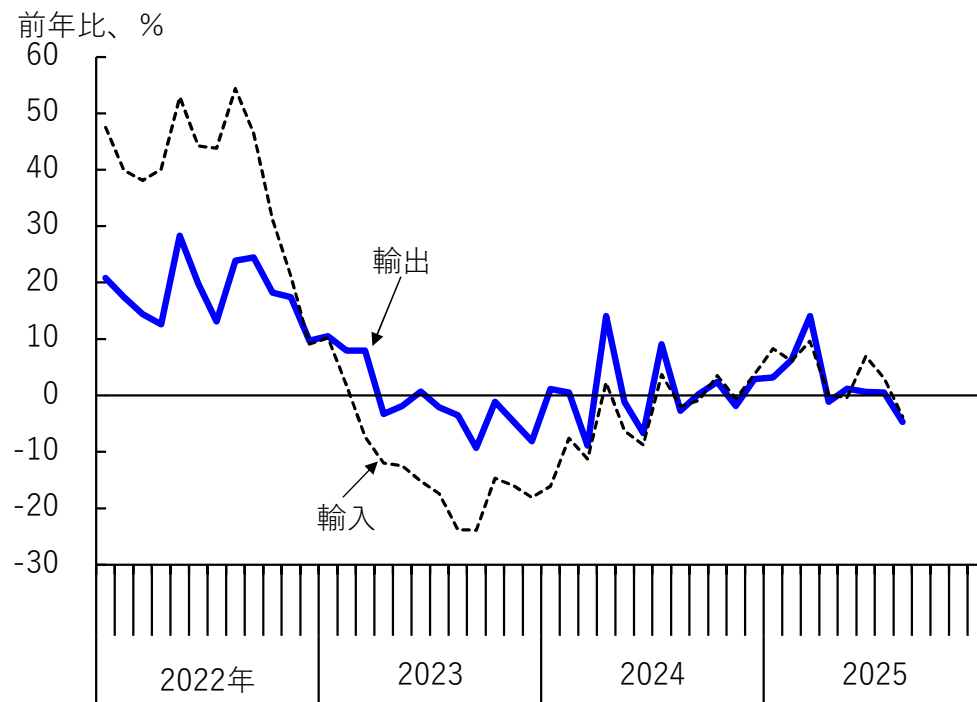


出所：欧州委員会



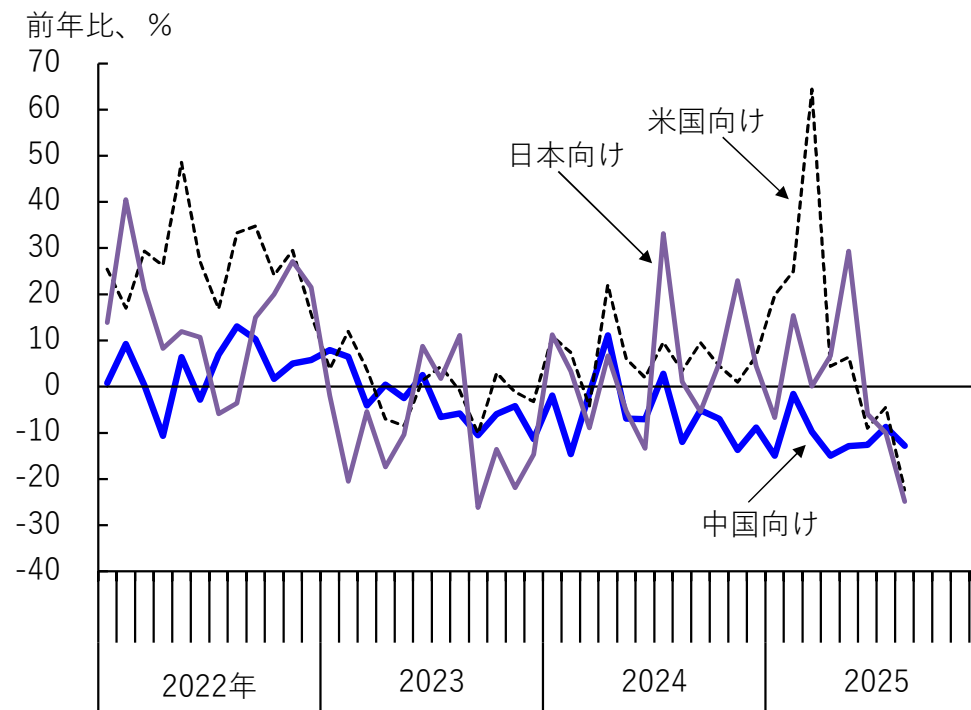
- 25年8月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比-4.7%と4か月ぶりに減少した。また、財の輸入も同-3.8%と3か月ぶりに減少。
- ー なお、季調値でみると、8月は財の輸出が前月比-0.8%と再び減少した。また、8月の輸入は同-2.4%と2か月連続で減少した。
- 8月の財の輸出（原数値）を仕向け地別にみると、米国向け（前年比-22.3%）、中国向け（同-12.8%）、日本向け（同-24.9%）のいずれもが前年水準割れとなった。

ユーロ圏の財の輸出入



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏の仕向け地別の財輸出

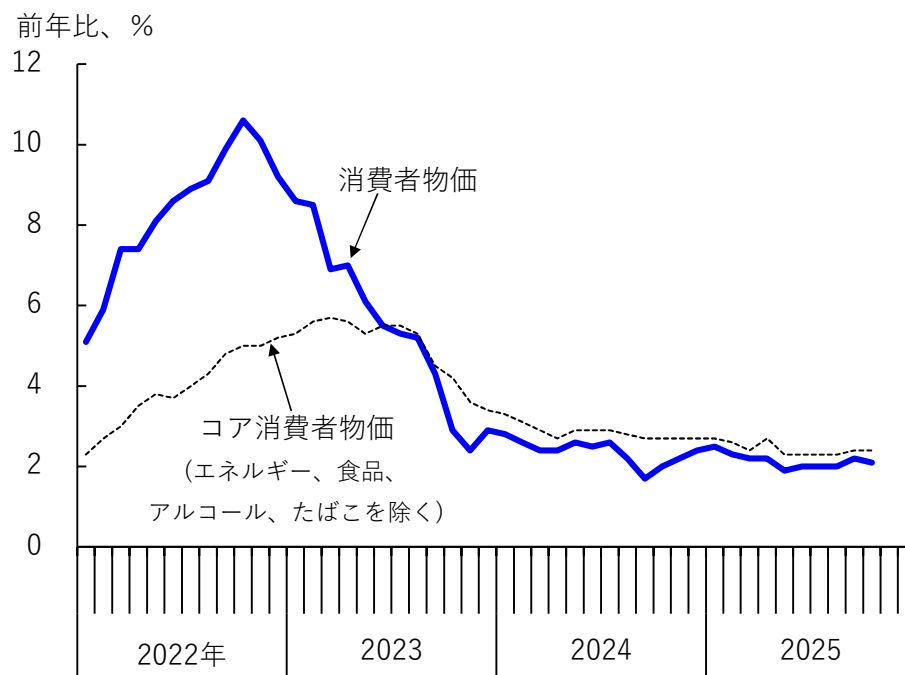


出所：欧州委員会統計局

10月の消費者物価は前年比
+2.1%と伸びがやや鈍化

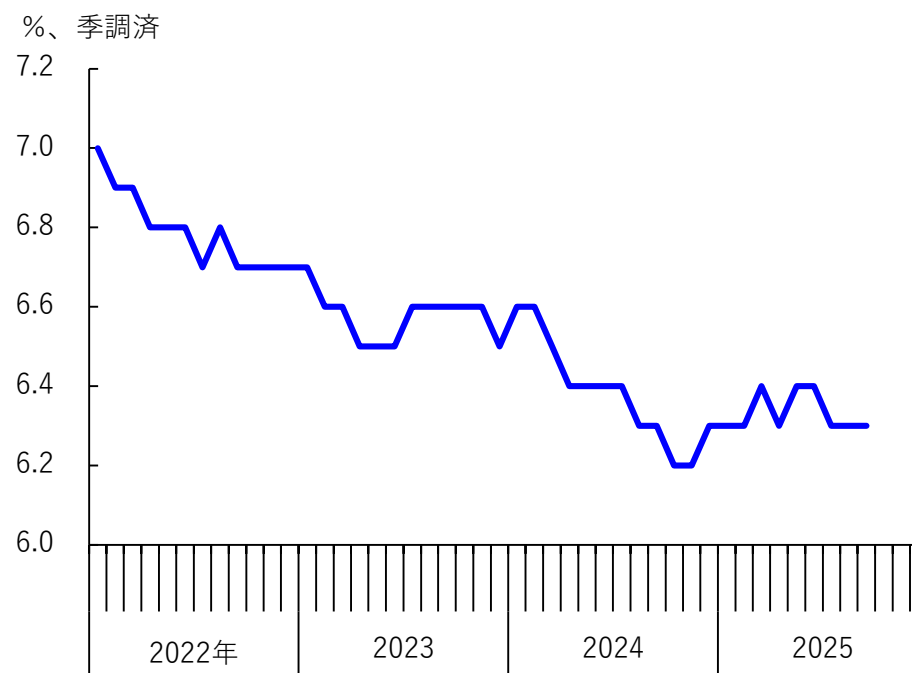
- 25年10月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.1%と、前月（同+2.2%）から若干伸びが鈍化した。一方、エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数は同+2.4%と、前月と同じ伸び率となった。
- ー 品目別には、サービスが前年比+3.4%と前月（同+3.2%）から伸びが高まる一方で、飲食料（アルコール含む）が同+2.5%と前月（同+3.0%）から伸びが鈍化した。またエネルギーは同-1.0%と前月（同-0.4%）から下落幅が拡大した。
- 9月のユーロ圏の失業率は6.3%と、3か月連続で同水準となった。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2025年10月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率



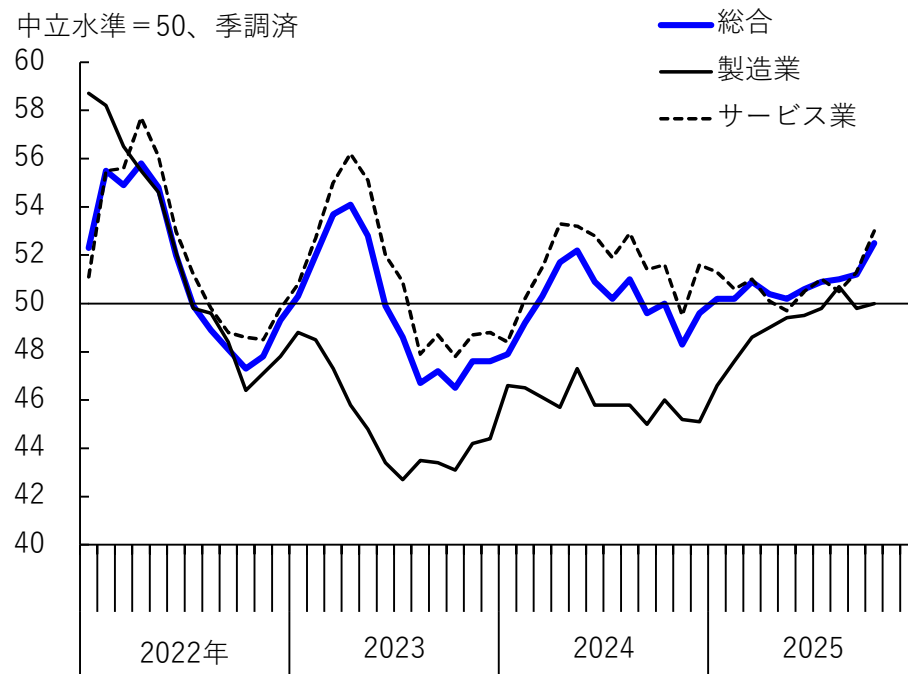
出所：欧州委員会統計局

10月のユーロ圏総合PMI
は5か月連続で上昇

- 企業の景況感は緩やかに改善している。25年10月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は52.5（前月は51.2）と5か月連続で上昇した。
 ー業種別には、製造業が50.0と前月（49.8）から小幅に上昇するとともに、サービス業も53.0と前月（51.3）から上昇した。
- 10月の各国別の総合PMIをみると、フランスが47.7と前月（48.1）から低下したものの、ドイツが53.9と前月（52.0）から大幅に上昇した。

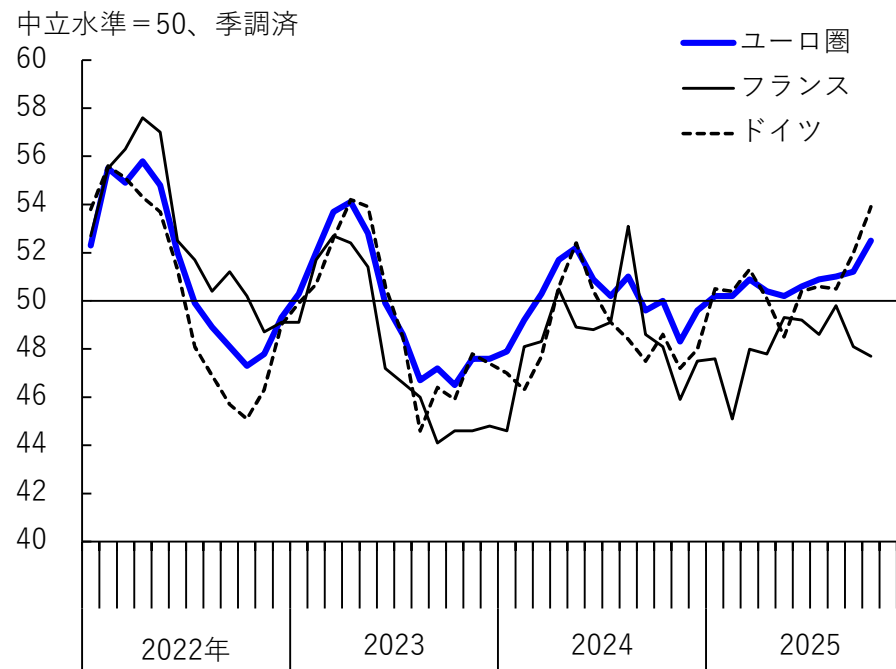
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI

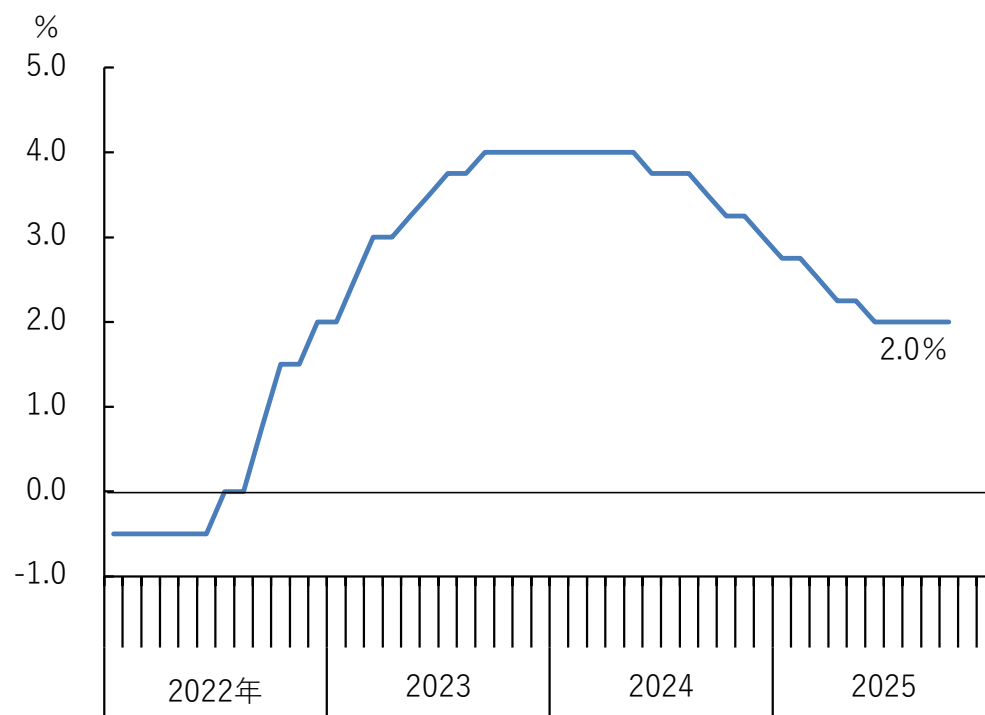


出所：S&Pグローバル

ECBは10月の政策理事会で3会
合連続の金利据え置きを決定

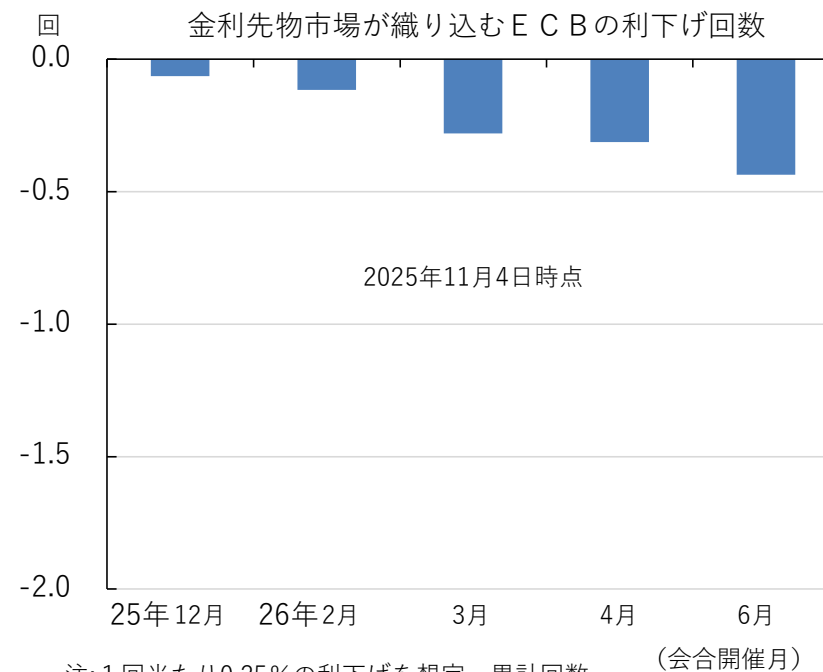
- 欧州中央銀行（ECB）は10月30日の政策理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.0%に据え置くことを決定した。金利の据え置きは3会合連続。
- ー ラガルドECB総裁は理事会後の記者会見で、欧州と米国の通商合意や米中貿易交渉の進展などを受けて、経済成長の下振れリスクは和らいだと指摘。「金融政策の観点から、我々は良好な位置にある」と述べた。
- ー 金利先物市場では、ECBが当面は利下げを見送って政策金利を据え置くとの見方が優勢となっている。

欧州中央銀行の政策金利（中銀預金金利）



出所：欧州中央銀行

金融市場の利下げ予想



注: 1回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。

なお利下げ回数のため、マイナス表記にしている。

出所：Bloomberg



浜銀総合研究所



調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5